

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	芸術文化振興補助金事業		予算事業名	文化振興補助金事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行		担当者名 山本 晃嗣
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体					
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	補助金	円	264000	724000	264000	264000	
	芸術文化活動助成金	円	1090000	996000	789000	1000000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.056	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	532,566	575,477	108	554,750	96	756,494	136	
	事業費	1,354,000	1,680,000	124	1,053,000	63	1,264,000	120	
	合計	1,886,566	2,255,477	120	1,607,750	71	2,020,494	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,886,566	2,255,477	120	1,607,750	71	2,020,494	126	
合計	1,886,566	2,255,477	120	1,607,750	71	2,020,494	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	921	935	101.5	935	100.0			
指標名2		芸術文化活動助成団体							
指標説明(式)		団体数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
数	目標	6	6	100.0	6	100.0	10	166.7	
	実績	7	5	71.4	4	80.0			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1956	2473	126.4	1990	80.5	2020	101.5	
	実績	2048	2412	117.8	1719	71.3			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める	4
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	4

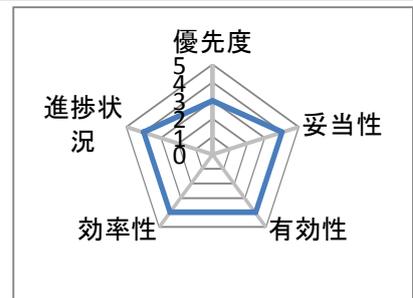
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	高齢化により会員数が減少傾向である

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	団体の活動に対する検証を続ける



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫
取組み事項		市民文化活動を振興する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	補助金	円					

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100	0.020	83	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	501,818	544,485	109	524,822	96	473,606	90	
	事業費	0	0	-	0	-	60,000	-	
	合計	501,818	544,485	109	524,822	96	533,606	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	501,818	544,485	109	524,822	96	533,606	102	
合計	501,818	544,485	109	524,822	96	533,606	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	3

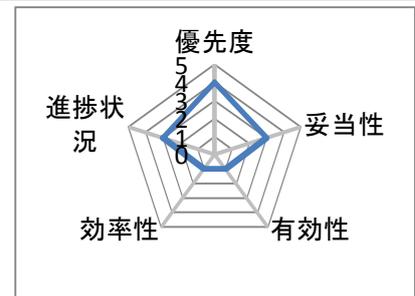
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	芸術文化活動の推進

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	補助事業の実施内容の見直し



配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010300	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会生涯学習課	
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	山本 晃嗣
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)			
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	文化芸術顕彰授与	件	4	1	0	6

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.004	33	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	451,509	110	435,038	96	347,878	80	
	事業費	14,872	3,200	22	0	0	30,000	-	
	合計	424,446	454,709	107	435,038	96	377,878	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	424,446	454,709	107	435,038	96	377,878	87	
合計	424,446	454,709	107	435,038	96	377,878	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数							
指標説明(式)		人数(団体数)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	12	12	100.0	12	100.0	6	50.0	
	実績	4	1	25.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標		40047	-	33517	83.7	62979	187.9	
	実績	106112	451509	425.5	0	0.0			

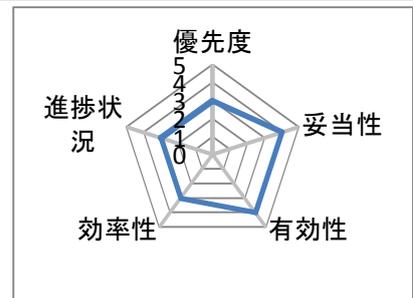
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される	4
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく必要あり



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	中学生ペーロン推進事業		予算事業名	中学生ペーロン推進事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生					
	誰(何)を対象として	中学生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	中学生参加者数	人	219	221	216	200	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.068	0.092	135	0.008	9	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	840,046	1,071,349	128	405,110	38	379,310	94	
	事業費	600,000	600,000	100	550,000	92	550,000	100	
	合計	1,440,046	1,671,349	116	955,110	57	929,310	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	600,000		0		-		-	
	一般財源	840,046	1,671,349	199	955,110	57	929,310	97	
合計	1,440,046	1,671,349	116	955,110	57	929,310	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数							
指標説明(式)		中学生参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	220	220	100.0	216	98.2	200	92.6	
	実績	219	221	100.9	216	97.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

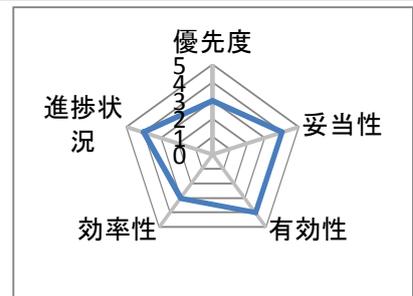
指標名1		参加者(中学生)ひとり当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷参加中学生							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2727	2727	100.0	2546	93.4	2750	108.0	
	実績	2740	2714	99.1	2546	93.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ペーロンの後継者を作るという点で大変意義がある。	4
効率性	手段の最適性	平日開催であるため、指導員を集めるのに苦勞を要する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り達成できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	小学生の体験乗船でも、往復600mのレースを行っているのに、中学生でありながら片道300mのレースを行っている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	往復600mのレースをする必要がある。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行		担当者名	山本 晃嗣
取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	芸術文化活動					
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	文化祭	事業	16	16	16	18	
	美術展	回数	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.748	0.728	97	0.728	100	0.680	93	
	臨時職員	0.060	0.112	187	0.112	100	0.016	14	
支出内訳	人件費	6,213,666	6,271,237	101	6,074,278	97	5,703,182	94	
	事業費	2,727,715	2,729,356	100	2,726,930	100	2,640,000	97	
	合計	8,941,381	9,000,593	101	8,801,208	98	8,343,182	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,941,381	9,000,593	101	8,801,208	98	8,343,182	95	
合計	8,941,381	9,000,593	101	8,801,208	98	8,343,182	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
実績	目標	3300	4000	121.2	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	4181	3635	86.9	3771	103.7			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
点数	目標	250	250	100.0	250	100.0	250	100.0	
	実績	278	277	99.6	269	97.1			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	830	685	82.5	685	100.0	660	96.4	
	実績	652	750	115.0	723	96.4			

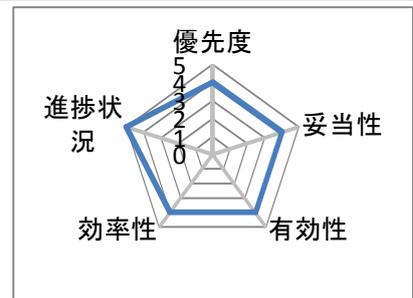
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10960	10960	100.0	10960	100.0	10560	96.4	
	実績	9811	9853	100.4	10137	102.9			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
効率性	手段の最適性	委託事業という効率的手法	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業内容を精査し、委託料の削減を図る



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	文化会館での実施にあたり、各種団体の予算の見直しを行う

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010401030100		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	市民会館管理運営事業	予算事業名	市民会館管理運営事業	優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	財務部財政課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	山本大介	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生市民会館改修工事		相生市民会館維持修繕事業			
根拠法規及び関連法規		相生市民会館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、団体等					
	誰(何)を対象として	文化的活動の場の提供					
	意図(どのような状態にしたいのか)	文化活動の促進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		利用者に活動の場を提供するとともに、適切な施設の維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	利用者数	人	74248	74283	70212	0	
	利用件数	件	2649	2717	2605	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.542	0.140	26	0.140	100		0	
	臨時職員	0.600	0.040	7	0.040	100		0	
支出内訳	人件費	5,948,284	1,540,453	26	1,493,494	97	316,446	21	
	事業費	25,133,704	23,157,941	92	22,713,905	98		0	
	合計	31,081,988	24,698,394	79	24,207,399	98	316,446	1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	6,012,941	5,730,465	95	5,226,818	91		0	
	一般財源	25,069,047	18,967,929	76	18,980,581	100	316,446	2	
合計	31,081,988	24,698,394	79	24,207,399	98	316,446	1		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民会館利用件数							
指標説明(式)		利用件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3200	3000	93.8	3000	100.0	0	0.0	
	実績	2649	2717	102.6	2605	95.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用者1名にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費/利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	272	362	133.1	334	92.3	0	0.0	
	実績	338	311	92.0	323	103.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用人数及び利用件数が前年度と比較し減少した。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	利用者1名にかかるコストは概ね横ばい状態となっている。	3
	執行体制の効率性	市民会館受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

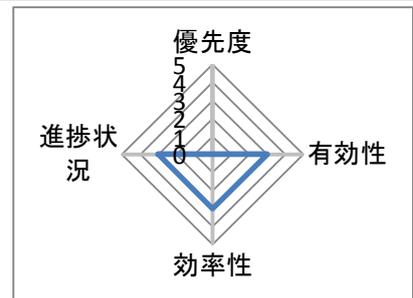
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	9

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030200	事業の種類	6
年度	27	事務事業名	仮称・市民文化会館建設事業	予算事業名	相生市文化会館建設事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名
取組み事項	文化施設の充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名	仮称・市民文化ホール建設事業		ホール周辺整備事業		
根拠法規及び関連法規	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)				
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民			
	誰(何)を対象として	全市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が身近に文化芸術に関わることにより、精神的な豊かさや感動を共有し、文化芸術を媒介としたコミュニケーションや地域活動の活発化を促す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	市民会館大ホールは、耐震化を前提としていたが、極度に低い耐震性能のため、耐震化工事が不可能であり、新たな大ホール建設の検討を行った。基本計画検討過程で、市民会館本館機能と一体整備することとなった。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	庁内検討委員会開催	回	2	0	1	2
	市民会議開催	回	2	0	27	24
		件				

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	1.280	0.880	69	1.356	154	0.284	21
	臨時職員	0.480	0.080	17	0.692	865		0
支出内訳	人件費	11,328,370	7,371,173	65	12,233,994	166	2,548,118	21
	事業費	119,083,551	407,286,279	342	2,861,833,807	703	45,756,000	2
	合計	130,411,921	414,657,452	318	2,874,067,801	693	48,304,118	2
財源内訳	国庫支出金	30,300,000	145,259,000	479	626,401,000	431		0
	県支出金			-		-		-
	市債		225,200,000	-	1,722,600,000	765		0
	その他			-		-		-
	一般財源	100,111,921	44,198,452	44	525,066,801	1,188	48,304,118	9
合計	130,411,921	414,657,452	318	2,874,067,801	693	48,304,118	2	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	会議開催数								
指標説明(式)	市民会議開催件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	0	0.0	0	-	26	-	
	実績	2	0	0.0	28	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

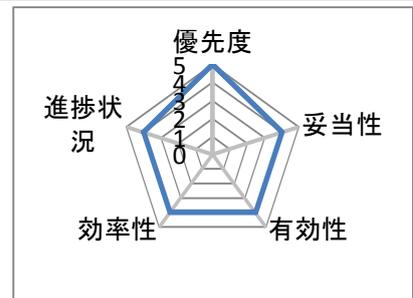
指標名1		工事進捗率(%)							
指標説明(式)		年度毎の工事達成率							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	100	-	100	100.0	
	実績			-	100	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民を中心に繰り広げられるさまざまな自己表現や優れた文化芸術の公演とその観賞、そして講演・講座とその聴講の機会の提供などの諸活動による、世代を超えた感動・喜び・共感・生きがいが発見できる。	4
	期待する目標	市民主体の多彩な事業展開と、地域の絆づくり、まちづくりへの進展。	
効率性	コストの節減	市民会館本館機能との一体的整備によるコストの削減が見込まれる。	4
	手段の最適性	文化会館企画委員会を組織し、市民の意見を取り入れながら建設を進めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年4月2日のオープンを迎えた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ランニングコストの軽減を図りながら、市民に愛されるホールを目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	多目的広場の整備についても引き続きコストの削減に努める。

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030300	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	仮称・市民文化会館管理運営事業	予算事業名	相生市文化会館管理運営事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名
取組み事項	文化施設の充実を図る		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名	文化会館維持管理事業				
根拠法規及び関連法規	相生市文化会館の設置及び管理に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民			
	誰(何)を対象として	全市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図れる施設として運営する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	平成28年度オープンを迎え、市民参加による管理運営を行っていくこととなる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	企画委員会開催	回	-	11	27	24
	運営審議会開催	回	-	-	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.027	-	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員		0.700	-	1.036	148	2.400	232
	臨時職員		0.060	-	0.668	1,113	2.042	306
支出内訳	人件費		5,927,933	-	9,779,298	165	24,701,298	253
	事業費		1,195,560	-	12,135,967	1,015	80,087,000	660
	合計		7,123,493	-	21,915,265	308	104,788,298	478
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源			-	21,915,265	-	104,788,298	478
合計		7,123,493	-	21,915,265	308	104,788,298	478	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	会議開催数								
指標説明(式)	企画委員会の開催件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	10	-	26	260.0	24	92.3	
	実績	-	11	-	27	245.5			
指標名2	ボランティアスタッフの登録数								
指標説明(式)	ボランティアスタッフの確保								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	20	-	65	325.0	
	実績	-	-	-	65	-			

【効率性】

指標名1		ボランティアスタッフの参加数							
指標説明(式)		ボランティアスタッフの延べ参加数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	40	-	250	625.0	
	実績	-	-	-	151	-			
指標名2		会議開催数							
指標説明(式)		運営審議会の開催件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	2	-	1	50.0	
	実績	-	-	-	2	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	受益者負担・市民参加の考え方の下、使用料以上の満足を得られる施設にし、できるだけ多くの自主事業を開催し、にぎわいを作っていく。	5
	期待する目標	文化芸術団体の育成、鑑賞する機会の提供、地域の絆づくり、まちづくりへの進展。	
効率性	コストの節減	早期にランニングコストの実情を把握し、節減に向けた見直しに努めていく。	5
	手段の最適性	公募を含む有識者からなる企画委員会の参加により、使用者、来館者の視点から有効な管理運営の方法を選択している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	4

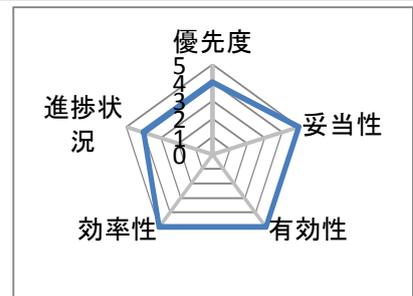
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	市民に愛される会館になるような運営を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	実際にオープンしてみないと分からないことも多いが、維持費の軽減を図りながら市民に愛される会館運営を行う。



配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	文化財運営事業	予算事業名	文化財事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		感状山城跡保存整備事業					
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	文化財					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	9	
	歴史講座の実施			21	23	24	
	史跡めぐりの実施			11	12	11	
	古文書講座				11	11	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.240	0.340	142	0.240	71	0.240	100	
	臨時職員	0.216	0.224	104	0.208	93	0.208	100	
支出内訳	人件費	2,689,466	3,537,173	132	2,664,886	75	2,765,214	104	
	事業費	1,372,768	2,917,776	213	1,358,688	47	2,078,000	153	
	合計	4,062,234	6,454,949	159	4,023,574	62	4,843,214	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,062,234	6,454,949	159	4,023,574	62	4,843,214	120	
	合計	4,062,234	6,454,949	159	4,023,574	62	4,843,214	120	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		感状山城跡入山者数(個人情報の高まりにより、登山名簿に記帳しない者の増加が見られる)							
指標説明(式)		35人(1ヶ月平均)×12ヶ月=420名							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		歴史講座及び史跡めぐりの開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標		33	-	46	139.4	43	93.5	
	実績		33	-	46	139.4			

【効率性】

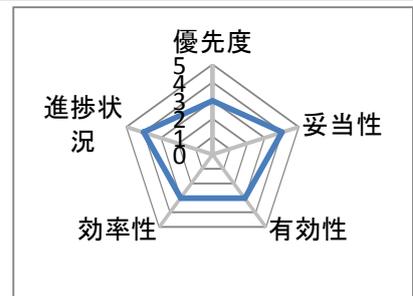
指標名1		人口1人当たりの文化財関連経費							
指標説明(式)		文化財関連事業費÷相生市の人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	64	120	187.5	50	41.7	45	90.0	
	実績	44	96	218.2	44	45.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている	3
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていくか。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	史跡パンフレットなどによる市内に残る貴重な文化財のPRを行い、文化財についての関心を深める。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040300		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	資料館管理事業	予算事業名	資料館管理事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		資料館活性化サポート事業		資料館維持管理事業			
根拠法規及び関連法規		相生市立歴史民俗資料館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	歴史民俗資料館					
	意図(どのような状態にしたいのか)	郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	資料館管理事業(特別展の開催)	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.330	0.270	82	0.350	130	0.330	94	
	臨時職員	0.514	0.511	99	0.522	102	0.524	100	
支出内訳	人件費	4,108,714	3,692,223	90	4,278,872	116	4,327,530	101	
	事業費	966,961	2,807,837	290	2,431,115	87	3,934,000	162	
	合計	5,075,675	6,500,060	128	6,709,987	103	8,261,530	123	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,075,675	6,500,060	128	6,709,987	103	8,261,530	123	
合計	5,075,675	6,500,060	128	6,709,987	103	8,261,530	123		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況							
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	166	150	90.4	69	46.0			
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数							
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80	100	125.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	102	107	104.9	58	54.2			

【効率性】

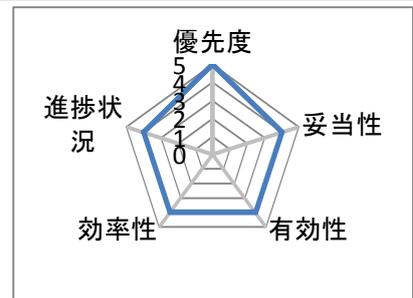
指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費÷入館者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1300	2000	153.8	2300	115.0	4900	213.0	
	実績	794	2257	284.3	3478	154.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	手段の最適性	資料館活性化サポート事業により特別展、資料館資料の収集・公開を行い、資料館の入館者数増に努めた。入館者数が減っているのは、特別展会場を図書館としたためであり、特別展の見学者を加えれば、昨年度を上回っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	寄贈を受けた貴重な史料や資料館活性化サポート事業で収集を行った資料を展示することで資料の有効活用を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続き資料館の展示物の入替や特別展を実施するとともに、歴史講座などの市民参加型の事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401050100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	国際交流事業		予算事業名	国際交流事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香	
取組み事項	多文化共生を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	スピーチ大会	人	-	20	28	30	
	食文化交流会	人	33	22	44	45	
	市民交流会	人	25	26	48	45	
	日本語教室(述べ人数)	人	122	372	410	450	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.240	0.244	102	0.128	52	0.128	100	
	臨時職員	0.040	0.020	50	0.008	40	0.008	100	
支出内訳	人件費	2,259,850	2,297,645	102	1,323,102	58	1,343,918	102	
	事業費	180,000	300,000	167	300,000	100	250,000	83	
	合計	2,439,850	2,597,645	106	1,623,102	62	1,593,918	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	180,000	300,000	167		0		-	
	一般財源	2,259,850	2,297,645	102	1,623,102	71	1,593,918	98	
合計	2,439,850	2,597,645	106	1,623,102	62	1,593,918	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業							
指標説明(式)		事業数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	5	166.7	5	100.0		0.0	
	実績	4	4	100.0	5	125.0			
指標名2		国際交流事業参加者数							
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	222	270	121.6	475	175.9	550	115.8	
	実績	288	440	152.8	530	120.5			

【効率性】

指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	9,400	-	3,417	36.4	2,898	84.8	
	実績	8,472	5,904	69.7	3,062	51.9			

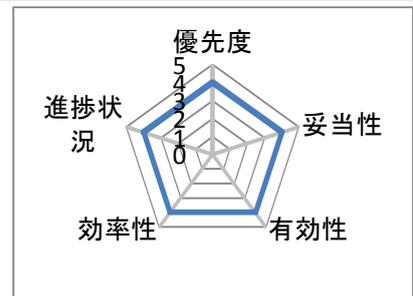
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進することができた。また、日本語教室を継続して行うことで生活環境の向上が図れた。	4
	市民サービス	交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	総事業費は減少し、事業数、参加者数は増加している。	4
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。また、参加者の幅も広がっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	日本語教室の参加者増加に伴い、他事業への参加者も増加傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	支援ボランティアが不足している状況にあるため、国際交流事業全体を市民へ周知する必要がある。

配点	32.5
総合評価	26